

皆さんは、「一生のうちで、果たして自分は何人の人との出会いがあるのだろうか。」ということを考えてみたことがありますか。

「二期一会(いちごいちえ)」の語源を辞書で調べてみると、安土桃山時代、茶人である千利休の弟子、山上宗二が「茶会に臨む際は、その機会を一生に一度のものと心得て、主客ともに互いに誠意を尽くせ」と言った、茶会の心得に由来します。「一期」とは仏教用語で、生まれてから死ぬまで。「一会」は主に法要などで一つの集まりや会合を意味するそうです。

私もこれまで、様々な人々との出会いがありました。学生時代の友人たちや恩師との出会い、大切な家族との出会い、教師としての仕事で、貴重な指導助言をいただく上司や互いに日々切磋琢磨している同僚、そして、かけがえない何千人もの生徒たちとの出会いです。現在の私があるのも、こうした人たちとの「二期一会」のおかげであると言えます。私事で恐縮ですが、教師一年目にある先輩教師との出会いがありました。その先生の指導力は素晴らしく、学級経営や教科指導、そして部活動など、何事にも決して手を抜かず、常に全力でした。また、生徒に対しては、謙虚な気持ちと誠意ある態度で、誰にでも真正面から向き

合っていました。当然生徒や他の教師からの信頼も大変厚く、新人であった私の目には「自分が目指すべき、憧れの教師像」と映りました。それから私は、「いつかはこの先生のようになる」と、心に固く決心しました。この出会いが、私の教師としての方向性を決めるきっかけとなったのです。NHK大河ドラマ「花燃ゆ」で、吉田寅次郎(松陰)は、主人公である妹の文を「お前には人と人を結びつける力がある。」と、讃える場面がありました。そこで出会った人々と同じ志を抱き、国の将来のために互いに助けあつて、一生懸命に活動をしました。良い出会いは、人の人生活や生活を変える力があります。現代の社会は時に、孤立や貧困といった状況を生み出し、私たちに不安な陰を落とすこともあります。また、様々な重圧に押し潰されそうになることがあるかも知れません。しかし、決してそれらに屈することなく、力強く生き抜いていくことこそが大切であると思います。そこにはやはり、人との出会いがあるのであります。「二期一会」この四字に込められた意味を念頭に、私たち一人一人が健やかな人生を送ることができれば、素晴らしいことです。

## 連載・青少年健全育成シリーズ 第289回

# 「一期一会」

青少年の声かけあいさつ運動の推進  
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」  
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。  
青少年育成都留市市民会議編集委員

## 広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？  
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています  
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合先：総務課 法制広報担当

### 広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月  
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況は、下記をご参考としてください。

また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄